

# 加曾利貝塚の保存

－みんなで対策を講ぜよ－

武田宗久

先ごろの報道によると千葉市桜木町にある通称加曾利貝塚が心ない人々によって盗掘されているという。私は昨年この貝塚を正式に発掘調査したひとりとしてこのことを誠に残念に思う。

もっとも京葉工業地帯の造成に伴う埋蔵文化財の破壊はほとんど各地で行われしかも工場や公共用地あるいは住宅地となる場合は、遺跡全体が破壊されてしまうので、その被害は盗掘による部分的破壊の比ではない。

先祖が残した文化財が今ほど重大な危機に直面している時はないのである。このような京葉工業地帯の問題に関しては、すでに昨年12月13日（昭和37年）の参議院文教委員会でも質問が行われ、また、本年2月14日の同委員会で加曾利貝塚や飯野古墳群の保存要望が出されているわけであるが、結局、地元民の熱意や地主の理解いかんが文化財を保存し得るのであって、ザル法といわれる文化財保護法ではどうにも手の施しようがないのが実情である。

加曾利貝塚の場合はすでにある土地会社を買収して山林の伐採を終わり、あとはブルドーザーをかけて宅地化寸前まで来ているのであって、隣接地にはごく最近工場が建てられ、その整地工事場の一部にこの貝塚の一部がかかっているという現状である。今にしてこの貝塚の保存対策を講じなければ永遠に破壊し去ることは必定となった。

千葉県の東京湾沿岸には加曾利貝塚のような環状ないし馬蹄形の大貝塚として、たとえば市川市堀之内、同曾谷、千葉市こて橋、同園生などがおもなものであるが、これらのほとんどは大きく破壊されているが、幸いに加曾利貝塚だけが比較的良く保存され、環状貝塚の実態を知るうえに貴重な遺跡となっている。

とくにこの貝塚が重要な価値を有する点は、第1に規模が南北600メートル、東西300メートルに及ぶ日本最大級のものであるのみならず世界的な大遺跡であること。第2に学問上石器時代の標準貝塚で土器分類学の基準とされ、内外の学者がこの貝塚の保存に重大な期待をよせていること。第3に千葉県における最古最大の大集落跡であり、とくに千葉市民にとってはかけがえのない古里ともいうべき所であること。第4に将来の県都のほぼ中心に位置し観光の面からも立地条件が適当であることである。

以上のことからこの貝塚の保存対策は国、県、千葉市が一体となって早急に実施すべき性質のものとする。

戦後静岡県においては静岡県郊外にある登呂遺跡の保存復元工事がいち早く行われ文教観光両面に大きな貢献をなしていることは、世間周知のことであるが、近年各地にこのような施設

が作られつつあって、たとえば東京都武蔵野自然博物館、神奈川県三浦半島自然公園、浜松市  
蜷塚貝塚保存工事ならびに収蔵庫の建設、横浜市三殿台貝塚の古代集落復元工事計画などがあ  
る。

千葉県は石器時代の宝庫といわれながら、京葉工業地帯の造成に伴う埋蔵文化財の破壊に対  
してほとんどなんらの対策も講じられていないという酷評を排除するためにも、関係当局が加  
曾利貝塚保存のための教育的、学術的、観光的、な具体案を作製して早急に実施されることを  
強く要望するものである。

(千葉高校教諭・考古学)

千葉日報新聞 昭和38年4月3日 第4面に掲載



加曾利北貝塚第Ⅱ住居址群 昭和40年度